

平成30年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月31日

上場会社名 ナトコ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4627 URL http://www.natoco.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山本豊 TEL 0561-32-2285  
 四半期報告書提出予定日 平成30年9月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第3四半期の連結業績（平成29年11月1日～平成30年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第3四半期	12,347	7.0	1,003	△2.0	977	△12.3	684	△5.3
29年10月期第3四半期	11,536	5.0	1,024	24.2	1,114	75.7	722	119.3

(注) 包括利益 30年10月期第3四半期 573百万円 (△37.0%) 29年10月期第3四半期 910百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第3四半期	90.79	—
29年10月期第3四半期	95.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第3四半期	22,199	17,514	78.9
29年10月期	22,300	17,197	77.1

(参考) 自己資本 30年10月期第3四半期 17,514百万円 29年10月期 17,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	12.00	—	18.00	30.00
30年10月期	—	16.00	—	—	—
30年10月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年10月期の連結業績予想（平成29年11月1日～平成30年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,600	5.0	1,500	2.6	1,520	△5.9	1,020	△6.1	135.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年10月期3Q	8,144,400株	29年10月期	8,144,400株
② 期末自己株式数	30年10月期3Q	600,920株	29年10月期	600,920株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年10月期3Q	7,543,480株	29年10月期3Q	7,543,480株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、アジア地域を始めとする新興国の景気は減速傾向が見られるものの、米国や欧州地域においては堅調さを持続し、全体として緩やかな成長で推移しました。一方、わが国経済は、雇用環境や企業業績の改善を背景に景気は緩やかな回復が続きました。

このような状況のもと、当社グループは独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発を行うとともに、生産性の向上や業務全般の効率化に努め、引き続き販路拡大に向け国内外で営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,347百万円（前年同期比7.0%増）となりました。利益面では、原材料価格の高騰の影響や人民元安に伴う為替差損の計上などにより、営業利益は1,003百万円（前年同期比2.0%減）、経常利益977百万円（前年同期比12.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益684百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

## ①塗料事業

金属用塗料分野では、作業性を考慮したエポキシプライマーや工作機械向け塗料「スーパーワン／Super One®」の拡販に加え、中国やフィリピンでの販売が増加したことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。建材用塗料分野では、新規住宅着工件数の減少に伴い、総じて需要が低調であったため、売上高は前年同期に比べ僅かに減少いたしました。利益につきましては、原材料価格の高騰の影響を受け減少いたしました。

この結果、塗料事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は7,807百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益は991百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

## ②ファインケミカル事業

中国において情報端末向け製品が堅調に推移したことにより、売上高及び利益は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

この結果、ファインケミカル事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は1,448百万円（前年同期比28.6%増）、セグメント利益は269百万円（前年同期比143.0%増）となりました。

## ③シンナー事業

新規ユーザー向けの販売量が順調に伸びたことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。利益につきましては、原材料価格の高騰や新工場の減価償却費負担増の影響を受け大きく減少いたしました。

この結果、シンナー事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は3,091百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は171百万円（前年同期比27.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は15,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ240百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が446百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が141百万円、有価証券が66百万円減少したことによるものであります。固定資産は6,849百万円となり、前連結会計年度末に比べ341百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が284百万円、投資有価証券が49百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は22,199百万円となり、前連結会計年度末に比べ101百万円減少いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,928百万円となり、前連結会計年度末に比べ416百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が332百万円、賞与引当金が112百万円減少したことによるものであります。固定負債は756百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が18百万円増加したものの、繰延税金負債が16百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,684百万円となり、前連結会計年度末に比べ418百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は17,514百万円となり、前連結会計年度末に比べ317百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益を684百万円計上した一方で、配当金の支払256百万円があったこと、為替換算調整勘定が73百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.9%(前連結会計年度末は77.1%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月期の連結業績予想につきましては、平成29年12月13日に公表いたしました「平成29年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,275,345	6,721,420
受取手形及び売掛金	5,084,397	4,943,069
電子記録債権	281,327	280,023
有価証券	1,066,180	1,000,000
商品及び製品	1,055,250	1,154,431
仕掛品	35,362	33,634
原材料及び貯蔵品	531,412	613,898
繰延税金資産	128,640	66,934
その他	656,348	541,248
貸倒引当金	△5,122	△4,957
流動資産合計	15,109,143	15,349,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,835,766	2,652,248
機械装置及び運搬具(純額)	1,469,910	1,326,820
土地	1,737,249	1,737,249
その他(純額)	148,122	189,928
有形固定資産合計	6,191,049	5,906,248
無形固定資産	190,908	181,681
投資その他の資産		
投資有価証券	642,638	592,982
繰延税金資産	14,610	14,991
その他	153,541	154,591
貸倒引当金	△1,538	△1,198
投資その他の資産合計	809,252	761,367
固定資産合計	7,191,210	6,849,297
資産合計	22,300,354	22,199,001
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,921,271	2,913,045
未払法人税等	363,568	30,745
賞与引当金	253,458	141,051
役員賞与引当金	34,300	28,350
その他	772,232	815,054
流動負債合計	4,344,830	3,928,246
固定負債		
繰延税金負債	120,894	104,249
役員退職慰労引当金	280,820	298,926
退職給付に係る負債	156,651	149,588
その他	199,985	203,461
固定負債合計	758,351	756,225
負債合計	5,103,181	4,684,471

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	11,917,905	12,346,293
自己株式	△516,252	△516,252
株主資本合計	16,344,530	16,772,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	324,118	286,082
為替換算調整勘定	534,006	460,164
退職給付に係る調整累計額	△5,483	△4,636
その他の包括利益累計額合計	852,641	741,610
非支配株主持分	—	—
純資産合計	17,197,172	17,514,529
負債純資産合計	22,300,354	22,199,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
売上高	11,536,012	12,347,936
売上原価	8,560,399	9,251,213
売上総利益	2,975,613	3,096,722
販売費及び一般管理費	1,951,547	2,092,976
営業利益	1,024,065	1,003,746
営業外収益		
受取利息	2,097	2,550
受取配当金	11,477	12,626
貸倒引当金戻入額	—	505
為替差益	62,322	—
物品売却益	8,742	14,291
その他	16,824	16,518
営業外収益合計	101,463	46,492
営業外費用		
支払利息	13	11
売上割引	8,203	8,616
為替差損	—	62,955
その他	2,830	1,623
営業外費用合計	11,047	73,206
経常利益	1,114,482	977,031
特別利益		
固定資産売却益	1,568	4,605
投資有価証券売却益	772	—
補助金収入	21,024	70,114
受取保険金	—	1,825
特別利益合計	23,366	76,545
特別損失		
固定資産処分損	7,444	1,360
固定資産圧縮損	20,767	65,946
特別損失合計	28,212	67,307
税金等調整前四半期純利益	1,109,636	986,268
法人税、住民税及び事業税	344,826	243,643
法人税等調整額	41,864	57,758
法人税等合計	386,691	301,402
四半期純利益	722,945	684,866
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	722,945	684,866



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年11月1日 至 平成30年7月31日)
四半期純利益	722,945	684,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103,713	△38,036
為替換算調整勘定	78,578	△73,842
退職給付に係る調整額	4,893	847
その他の包括利益合計	187,185	△111,031
四半期包括利益	910,131	573,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	910,131	573,835
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	7,574,842	1,126,795	2,834,375	11,536,012	—	11,536,012
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,960	3,329	166,820	201,111	△201,111	—
計	7,605,803	1,130,124	3,001,195	11,737,123	△201,111	11,536,012
セグメント利益	1,083,749	110,838	237,342	1,431,930	△407,864	1,024,065

(注) 1. セグメント利益の調整額△407,864千円は、セグメント間取引消去22,763千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△430,627千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事 業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	7,807,755	1,448,943	3,091,237	12,347,936	—	12,347,936
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,319	17,068	233,232	273,620	△273,620	—
計	7,831,074	1,466,012	3,324,470	12,621,557	△273,620	12,347,936
セグメント利益	991,760	269,291	171,347	1,432,399	△428,653	1,003,746

(注) 1. セグメント利益の調整額△428,653千円は、セグメント間取引消去25,281千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△453,934千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。